

© shuhei ARITA



小柄ながら、指揮台にあがると強烈なオーラを放ち、オーケストラから確固としてリズムを引き出す

指揮者として、イタリア・ベネチアを拠点に活動する三ツ橋敬子さん。2008年、第10回アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクールで史上最年少、女性指揮者として初となる第1位を受賞して世界中の注目を集めて以来、イタリア、日本の名だたる交響楽団のオーケストラと共演。文字通り、世界を舞台に活躍しています。

指揮者を志したきっかけは 中学の合唱コンクール

幼い頃からピアノを弾いた

り作曲したりなど、音楽に親しんできた三ツ橋さんが、指揮者を志すきっかけとなった

のは、中学校時代の校内合唱コンクール。

「クラスの指揮者となり、早朝や休み時間を返上しての練習に、どうしたら多くのクラスメートに参加してもらえるのか、どうしたら皆で丸となってハーモニーを作っていくのかなど、工夫を凝らして頑張りました。

江東のひと

【指揮者】

三ツ橋敬子さん

人々の心をつなぐ音楽の力を信じ、世界中の方々と音楽をつくりたい

世界中から集まってきた仲間から受ける刺激もありました。日本とは全く違う環境の中で、一からやり直すつもりで必死に勉強しました。オペラ劇場音楽科でも学んだので、オペラ劇場に必要なテクニックなども修得し、密度の濃い経験を重ねることができました。」

作者の意思を追求し、音楽的表現全てを考えて各パートの演奏を統

怒ったり泣いたり、友達にだめられたりしながら、自身の「ひと」を相手に「ひと」と一緒に音楽をつくる楽しさに気づきました。」

高校卒業後、東京藝術大学に進学し、指揮のテクニクに加えて作曲技法やさまざまな楽器の演奏など学びつつ、指揮活動を開始。同

大学院修了後、ウィーン国立音楽大学に留学したことが、自身の中で、ひとつの大きなステップになったといいます。

「実際にオーケストラを使ったレッスンは多く、また、



率する役割を担う指揮者。指揮者に必要な資質とは」と聞くと、「うん、私も知りたところですよ(笑)」と、たぐいまれなる才能の持ち主ら

しからぬ答えが返ってきました。指揮者は、女性の進出の最も遅い職業の一つ

指揮者というと、男性の

イメージが強いですが、ヨーロッパやアメリカはもちろん、最近では日本でも指揮者を目指す若い女性が増えてきているそうです。「それでも、まだいろいろな場面で私自身も女性初と表現されることは少なくありません。指揮者は、女性の進出の最も遅い職業の一つとよく言われますが、実際そうなのかもしれませんね」と、三ツ橋さん。とはいえ、「ヨーロッパ、特に北欧やドイツでは、女性指揮者を目にする機会は日本より多いですよ」と言います。若手

の指揮者として、世界を飛び回る三ツ橋さんたちの活躍は、これまでの指揮者のイメージを少しずつ変えていくのかもしれない。

「指揮者を志すきっかけになった『人々の心をつなぐ音楽の力を信じ、それに一生をかけてみたい』という想いを忘れずにいたい」という三ツ橋さん。「これからも、たくさんの方とたくさんの方々の出会い、一緒に音楽をつくり、そして聴いてくださる方々が音楽の喜びを感じてくださったら嬉しいですね。」



© K_KITAHARA

Profile

江東区砂町出身。東京藝術大学大学院修了後、ウィーン国立音楽大学に留学。2006年トスカニーニ・オーケストラを指揮しプロデビュー。コンクールで数多くの賞を受賞。2009年より、小澤征爾音楽塾オーケストラプロジェクトの日本・中国公演で小澤征爾氏のアシスタントを務めるなど、国内外で注目を集める指揮者。

守ろう人権 講演とメッセージのひと

日時：12月7日(金) 13時30分～16時30分(開場13時)

会場：カメラプラザ カメラホール(江東区亀戸2-19-1)

内容：①人権メッセージの発表(辰巳小学校・第六砂町小学校)

②人権啓発映画上映「桃香の自由帳」

③講演「なぜ『私』は差別するのか」

講師 小池龍之介さん(月読寺、正現寺住職)『考えない練習』著者

定員：400名(先着・無料)

手話通訳付。保育有(1歳半～未就学児) 11月29日(木)までに要予約。

保育予約・問合せ先 人権推進課 TEL：3647-1164



小池 龍之介さん(月読寺、正現寺住職)

本紙に対する皆さまのご意見 ご感想をお待ちしています

江東区総務部男女共同参画推進センター
〒135-0011 江東区扇橋3-22-2(パルシティ江東内)
☎ 5683-0341 FAX 5683-0340
Eメール：055200@city.koto.lg.jp